

1 経緯

- ①熊本市電においては、平成28年1月に九州運輸局から177円の上限運賃で認可を受け、同年2月に150円から170円への運賃改定を実施
- ②その後、令和元年10月の消費税率引き上げに伴い、同年9月に177円に消費税増税分を転嫁した180円で上限運賃の認可を得た
- ③国の方針や新型コロナウイルス感染症の影響による据え置き期間を経た後、令和5年6月に180円への運賃改定を実施

2 現状

- ①経営状況の悪化
 - ・令和5年度の乗車人員は、コロナ禍前の令和元年度比で約92%まで回復したものの、一般会計からの繰出金なしでの利益確保は難しく、人件費・物価高騰に対する支援として一般会計から174,000千円の基準外繰出補助を受けたこと等により令和5年度決算として116,634千円の純利益を計上予定
 - ・令和6年度当初予算では、乗車人員回復により運賃収入のさらなる増加を見込んでいるものの、会計年度任用職員（乗務員等）に新たに勤勉手当が支給されることとなった影響や、物価高騰により収支が悪化し、同様の基準外繰出補助142,200千円を受ける予定であるが、同補助は今年度限りの予定
- ②今後の収支見込み
 - ・令和6年第1回定例会の軌道運送高度化実施計画（案）においてお示ししたとおり、仮に運賃200円で見込んだ場合、上物・下物それぞれの単年度収支は保たれ、今後30年間の累積収支も黒字になる見込みであるものの、180円で試算した場合、上物法人の単年度収支は初年度から赤字となり、今後30年間の累積収支（上下合算）も▲278百万円になる見込み（※次頁参照）

■ 運賃180円と200円での収支比較

■ 乗車人員等の前提条件

○ 令和7年度に200円に改定したと仮定し、乗車人員は1.3%の逸走を見込んでいる。

○ 令和8年度以降の乗車人員増減の考え方は180円、200円ともに同様（人口減少による減少、延伸による増加）

■ 上物事業者（法人）

	期中合計	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	R15 2033	R16 2034	R17 2035	...	R36 2054	
【運賃180円】	乗車人員（千人）	345,022	11,402	11,382	11,393	11,342	11,322	11,302	12,012	11,976	11,974	11,972	12,003	...	10,836
	運賃収入	53,196.8	1,744.6	1,741.5	1,743.2	1,735.4	1,732.3	1,729.2	1,872.7	1,862.3	1,857.1	1,852.1	1,852.0	...	1672.1
【運賃200円】	乗車人員（千人）	340,648	11,250	11,230	11,241	11,190	11,170	11,150	11,861	11,826	11,824	11,822	11,853	...	10,700
	運賃収入	57,997.4	1,912.5	1,909.1	1,911.0	1,902.3	1,898.9	1,895.5	2,039.1	2,027.8	2,022.1	2,016.5	2,016.4	...	1820.4

※ 運賃による差異なし

その他収入(受託料・雑収入)	20,822.8	642.7	652.1	643.7	642.6	648.5	657.8	708.4	679.8	744.9	699.2	722.5	...	712.4
支出合計(経費・人件費・施設使用料)	75,096.6	2,391.2	2,396.9	2,413.7	2,405.7	2,405.0	2,426.7	2,589.4	2,531.2	2,638.4	2,536.9	2,566.4	...	2,521.4

③

【運賃180円】	法人税等	21.7	0	0	0	0	0	0	2.4	0	3.1	1.8	...	0	
	単年度資金収支	-1098.7	-3.9	-3.3	-26.8	-27.7	-24.2	-39.7	-8.3	8.5	-36.4	11.3	6.3	...	-136.9
【運賃200円】	法人税等	812.5	35.8	35.9	30.8	30.4	31.1	27.6	34.5	38.5	28.1	39	37.6	...	2.5
	単年度資金収支	2,911.1	128.2	128.4	110.2	108.8	111.3	99.0	123.6	137.9	100.5	139.8	134.9	...	8.9

■ 下物事業者（熊本市） ※ 運賃による差異なし

収益的収支	695.3	101.5	84.0	77.7	68.3	64.5	57.1	52.0	45.1	38.2	25.6	20.2	...	0.8
資本的収支	-5,784.1	-294.5	-276.5	-272.0	-256.6	-252.2	-242.7	-241.9	-234.8	-230.1	-209.6	-205.3	...	-141.6
損益勘定留保金	5,909.9	267.6	240.1	246.5	231.5	218.1	235.8	221.9	231.2	222.1	220.1	201.6	...	176.5
単年度現金収支	821.1	74.6	47.6	52.2	43.2	30.4	50.2	32.0	41.5	30.2	36.1	16.5	...	35.7

■ 上下合算

②

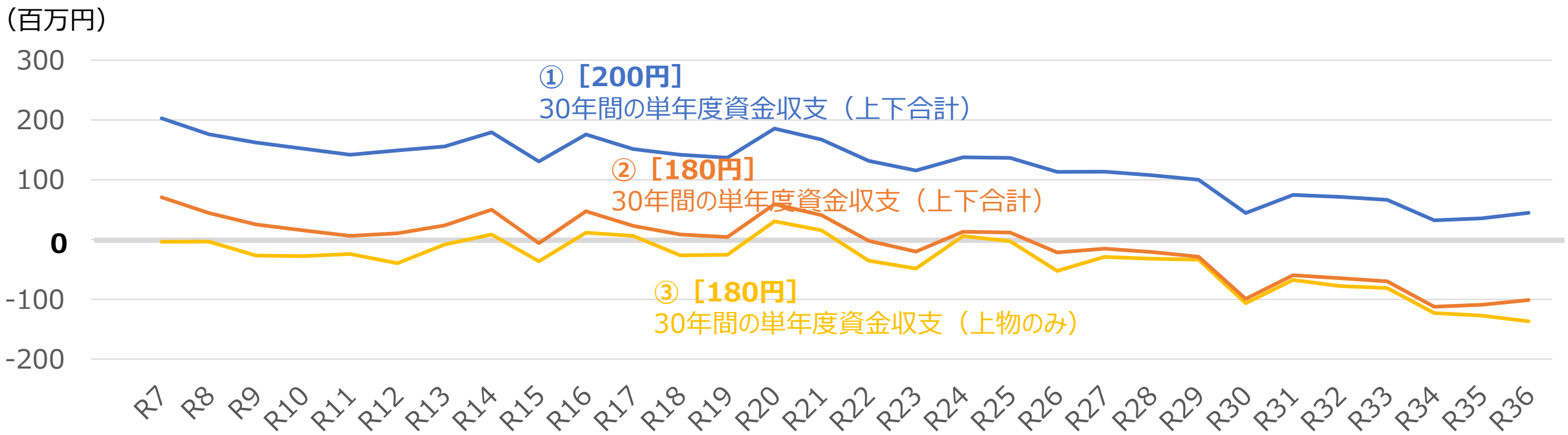
【運賃180円】	単年度現金収支	-277.6	70.7	44.3	25.4	15.5	6.2	10.5	23.7	50.0	-6.2	47.4	22.8	...	-101.2
----------	---------	--------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	-----	--------

①

【運賃200円】	単年度現金収支	3,732.2	202.8	176.0	162.4	152.0	141.7	149.2	155.6	179.4	130.7	175.9	151.4	...	44.6
----------	---------	---------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	------

■運賃180円と200円での単年度資金収支推移グラフ

- 180円では、1億円以上の黒字を出すことはなく（5,000万円以上も3か年のみ）、9年目（R15年）には単年度赤字を計上。20年目（R26年）以降はすべて単年度赤字
- 令和6年第1回定例会で報告した施設使用料の算定方法をあてはめると、上物は初年度から赤字となり、黒字を計上するのも30年間で6か年のみ



■累積資金収支結果

項目	①200円の場合	②180円の場合
上物の収支（30年間の累積）	2,911百万円	▲1,099百万円
下物の収支（30年間の累積）	821万円	821百万円
合計	3,732百万円	▲278百万円

3 運賃改定について

- 乗務員等の処遇改善及び物価高騰に対応しつつ収支の均衡を図り、もって安定した経営基盤を確立するため、**現状180円の運賃改定を検討**
- 改定額については、今後の収支見込や九州運輸局との協議、アンケート調査の結果等を踏まえて決定**

4 利便性向上策

① タッチ決済を活用した利便性向上策

○概要

- ・100周年記念事業として、**今年の8月から1日上限設定割引を開始**
- ・開業月の8月は、**1日あたり360円を最大料金**として1ヶ月間実施
- ・**9月以降も新たな料金を設定し継続**

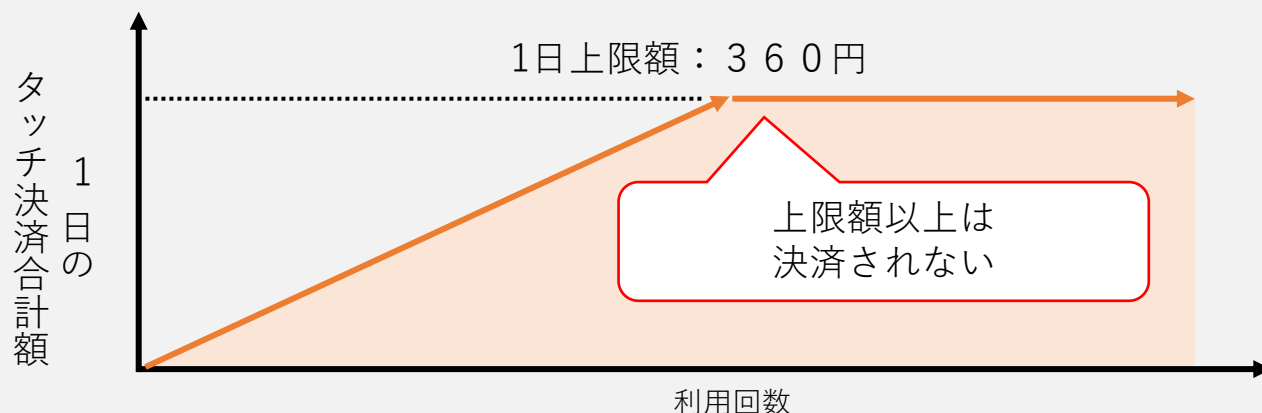
○対象ブランド

市電で利用できる全ブランドが対象



※タッチ決済の上限設定割引とは

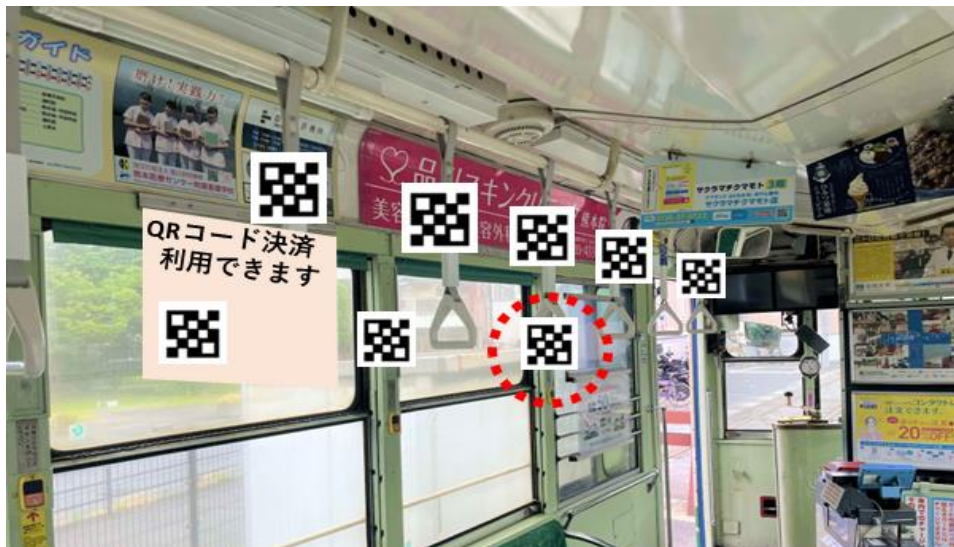
- ・1日または1ヶ月の期間で運賃の上限額を予め設定し、期間内に決済額が設定された額に達した場合にそれ以降決済打ち止めとなるサービス
 - 1日であれば1日乗車券、1ヶ月であれば定期券に近いサービス**
- ・**事前の登録不要**、上限額まで達すると**自動的に適用**される



② QRコード決済の利便性向上策

- ・ QRコードの読み取りによる支払い方法の追加及び海外系ブランド（台湾等）の追加
- ・ 令和6年8月～9月頃を目途に導入を検討

利用スキーム



車内にQRコードを掲示し、利用者は乗車中にQRコード読み取り

取扱ブランド

- ・ PayPay、auPAY、d払い、楽天ペイ、Alipay
- ・ 更に、台湾、韓国、タイなど 様々な海外ブランドが利用可能



5 運賃改定の今後のスケジュール（案）

項目	令和6年度							令和7年度					
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
市議会	議会説明			議会説明			条例改正						
九州運輸局				協議開始		認可申請書 類確認		認可申請→認可					
広報関係		アンケート 調査						← HP・X・市政だより等 →					
運賃改定													運賃改定